

備考 1 標題の<令和 年 月>に年月を入力すれば、曜日は自動表示されます。*** 元年は「1」と入力。**

※水色のセル部分のみ入力してください。

2 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、4週間分の勤務時間数を記入してください。

3 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週間あたりの勤務時間] 時間/週

4 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、上段には勤務時間(①~)、下段には実働時間を記入してください。

兼務の職員は2段使用し、実働時間についてはその職種ごとの勤務時間数を分けて記入してください。

(内訳)

	勤務時間	実働時間		勤務時間	実働時間
①	~		⑥	~	
②	~		⑦	~	
③	~		⑧	~	
④	~		⑨	~	
⑤	~			(空 欄)	休 日

5 勤務形態欄は以下のとおり記入してください。

勤務形態の区分	
A	常勤で専従
B	常勤で兼務
C	非常勤で専従
D	非常勤で兼務

6 実働時間については、職種ごとの勤務時間数を記入してください。管理者と計画作成担当者等の兼務するような場合は、それぞれの業務を行う時間を按分して記入してください。

7 兼務がある場合は、兼務先及び兼務する職務の内容について、備考欄に記入してください。

8 常勤・非常勤の区分は、当該事業所における勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数に達していることをいうので、雇用の形態ではないことにご注意ください。(例えば、常勤者は4週で160時間勤務することとされた事業所であれば、パート雇用であっても、4週160時間勤務する従業者は常勤となります)

9 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

(参考様式1-3)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

<令和 4 年 5 月>

記入例

サービス種類 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

(* 記入例であり、事業所に適した人員を配置してください)

事業所・施設名 (○○○○事業所)

職種	勤務形態	氏名	第1週							第2週							第3週							第4週							4週の合計	常勤換算後の人数	備考 (兼務の内容等)
			1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日			
管理者	B	介護 A男	① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			80		計画作成担当者兼務
計画作成責任者	B	介護 A男	① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			① 4	① 4	① 4	① 4	① 4			80		管理者兼務
オペレーター	A	介護 太郎	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8									① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8	160		
オペレーター	C	介護 花子			① 8	① 8					① 8														① 8	① 8					64		
オペレーター	A	介護 B子	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	160		
オペレーター	C	介護 □男			② 8	② 8					② 8	② 8							② 8	② 8					② 8	② 8					64		
オペレーター	A	介護 C子	③ 8	③ 8	③ 8			③ 8	③ 8	③ 8			③ 8	③ 8	③ 8			③ 8	③ 8	③ 8	③ 8	③ 8			③ 8	③ 8	③ 8	③ 8	③ 8	③ 8	160		
オペレーター	C	介護 D男				③ 8	③ 8			③ 8				③ 8					③ 8				③ 8			③ 8			③ 8	③ 8	64		
オペレーター	A	介護 E子	④ 8		④ 8	④ 8	④ 8	④ 8			④ 8	④ 8	④ 8	④ 8	④ 8			④ 8	④ 8	④ 8	④ 8	④ 8			④ 8	④ 8	④ 8	④ 8	④ 8	④ 8	160		
オペレーター	C	介護 F男		④ 8				④ 8			④ 8				④ 8			④ 8				④ 8			④ 8	④ 8			④ 8	④ 8	64		
訪問介護員(定期)	A	〇〇 〇〇	① 8	① 8		① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8	① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8	① 8	① 8	① 8	160			
訪問介護員(定期)	A	介護 G子	② 8	② 8		② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	160		
訪問介護員(定期)	D	△△ △△	③ 8		③ 8			③ 8			③ 8				③ 8			③ 8				③ 8			③ 8			③ 8	③ 8	80			
訪問介護員(定期)	B	介護 G子		③ 8		③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8	72		訪問介護員(随時)兼務
訪問介護員(定期)	B	介護 ×男			③ 8		③ 8			③ 8		③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8		③ 8		③ 8		72		訪問介護員(随時)兼務	
訪問介護員(随時)	A	□□ □□	① 8	① 8		① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8	① 8	① 8	① 8			① 8	① 8	① 8	① 8	① 8	① 8	160			
訪問介護員(随時)	A	介護 O子	② 8	② 8		② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8			② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	② 8	160			
訪問介護員(随時)	D	△△ △△			③ 8		③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8	③ 8	72			
訪問介護員(随時)	B	介護 G子	③ 8		③ 8		③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8		72		訪問介護員(定期)兼務	
訪問介護員(随時)	B	介護 ×男		③ 8		③ 8		③ 8			③ 8		③ 8			③ 8			③ 8			③ 8			③ 8		③ 8		③ 8	80		訪問介護員(定期)兼務	
訪問看護員	A	×× ××	① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	160				
訪問看護員	A	介護 □子		① 8	② 8	③ 8	① 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	160			
訪問看護員	C	介護 A美	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	② 8	③ 8		① 8	152			
訪問看護員	C	介護 C美	② 8	③ 8		② 8	③ 8			② 8	③ 8			② 8	③ 8			② 8	③ 8			② 8	③ 8			② 8	③ 8		② 8	120			
訪問看護員	C	介護 ××			① 8		② 8	③ 8		① 8			① 8			① 8			① 8			① 8			① 8		① 8		① 8	80			
			24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	672		

兼務の人は、職種ごとに氏名を記入し、その職種としての時間数を記入して下さい。

備考 1 標題の<令和 年 月>に年月を入力すれば、曜日は自動表示されます。***元年は「1」と入力。**

※水色のセル部分のみ入力してください。

2 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、4週間分の勤務時間数を記入してください。

3 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間[就業規則等で定められた1週間あたりの勤務時間] **40** 時間/週

4 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、上段には勤務時間(①~)、下段には実働時間を記入してください。

兼務の職員は2段使用し、実働時間についてはその職種ごとの勤務時間数を分けて記入してください。

(内訳)

	勤務時間	実働時間		勤務時間	実働時間
①	9:00~18:00	8	⑥	~	
②	13:00~22:00	8	⑦	~	
③	18:00~10:00	8	⑧	~	
④	6:00~15:00	8	⑨	~	
⑤	~			(空欄)	休日

5 勤務形態欄は以下のとおり記入してください。

勤務形態の区分	
A	常勤で専従
B	常勤で兼務
C	非常勤で専従
D	非常勤で兼務

6 実働時間については、職種ごとの勤務時間数を記入してください。管理者と計画作成担当者等の兼務するような場合は、それぞれの業務を行う時間を按分して記入してください。

7 兼務がある場合は、兼務先及び兼務する職務の内容について、備考欄に記入してください。

8 常勤・非常勤の区分は、当該事業所における勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数に達していることをいうので、雇用の形態ではないことにご注意ください。(例えば、常勤者は4週で160時間勤務することとされた事業所であれば、パート雇用であっても、4週160時間勤務する従業者は常勤となります)

9 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

(参考様式1-2)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(年 月分) サービス種類 ((介護予防)認知症対応型共同生活介護事業)
事業所名()

職種	勤務形態	資格	氏名	日勤・夜勤の区分	第1週							第2週							第3週							第4週							4週の合計	週平均の勤務時間	常勤換算後の人数			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28						
管理者		—		—																																0	0	—
計画作成担当者				—																																0	0	—
介護従業者		—		日勤																															0	0	* c...b÷d (小数点以下第2位を切り)	
		—		夜勤																															—	—		
		—		日勤																															0	0		
		—		夜勤																															—	—		
		—		日勤																															0	0		
		—		夜勤																															—	—		
		—		日勤																															0	0		
		—		夜勤																															—	—		
		—		日勤																															0	0		
		—		夜勤																															—	—		
		—		日勤																															0	0		
		—		夜勤																															—	—		
			介護従業者における日勤時間の計																															0	0	c		

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間] 時間/週 (d) ↑ a ↑ b

介護従業者の夜勤における勤務開始時間及び終了時間: 当日 時 分から 明朝 時 分まで

利用者の生活時間: 朝の 時 分から夕の 時 分まで

* a(合計月間勤務時間)…介護従業者の日勤帯における合計月間勤務時間を記入。

注: 管理者や計画作成担当者が介護従業者と兼務している場合は、それぞれの職種で勤務時間を割り振り、管理者や計画作成担当者としての勤務時間は除くこと。

* b(合計週間勤務時間)…a÷4 [小数点以下第2位を切り捨て]

* c(常勤換算)…b÷d [小数点以下第2位を切り捨て]

【備考】

- 1 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む)について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。
- 2 介護従業者は右記の勤務形態の区分の順にまとめて記載してください。 勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務
- 3 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。
- 4 介護従業者の欄が足りないときは、欄を増やして(別の職種の余分な行を削除してその分の行を増やす、2ページにする等)記入してください。
- 5 介護従業者は下記例を参考に、各事業所の日勤帯における勤務時間と夜勤帯における勤務時間とを区分して記入してください。

例:日勤帯における勤務時間は8時間、夜勤者の勤務時間帯は17時～10時、利用者の生活時間を6時～21時とした場合
夜勤者の勤務時間帯 →

生活時間	夜間及び深夜の時間帯	生活時間
17～21時(4時間)	21～6時(休憩1H、実働8時間)	6～10時(4時間)

介護従業者	A		昭島花子	日勤	8	8	8	4	4																										128	32
	//		//	夜勤				3	5																										—	—

6 * 欄には、当該月の曜日を記入してください。

(参考様式1-3)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(年 月分) サービス種類 ((介護予防)小規模多機能型居宅介護事業)
事業所名()

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日勤・夜勤・宿直の区分	第 1 週							第 2 週							第 3 週							第 4 週							4週合計	週平均の勤務時間	常勤換算後の人数			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28						
管理者		—		—																																0	0	—
介護支援専門員		介護支援専門員		—																															0	0	—	
介護従業者		—		日勤																														0	0			
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		—		日勤																															0	0		
				夜勤・宿直																																		—
		通いサービスに当たる介護従業者の日勤時間の計																																0	0	c		
		訪問サービスに当たる介護従業者の日勤時間の計																																0	0	c		

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間] 時間/週 (d) ↑ a ↑ b

介護従業者の夜勤における勤務開始時間及び終了時間: 当日 時 分 から 明朝 時 分まで

利用者の生活時間: 朝の 時 分から夕の 時 分まで

* a(合計月間勤務時間)…介護従業者の日勤帯における合計月間勤務時間を記入。
注:管理者や介護支援専門員が介護従業者と兼務している場合は、それぞれの職種で勤務時間を割り振り、管理者や介護支援専門員としての勤務時間は除くこと。
* b(合計週間勤務時間)…a÷4 [小数点以下第2位を切り捨て]
* c(常勤換算)…b÷d [小数点以下第2位を切り捨て]

【備考】

- 1 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む)について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。
- 2 介護従業者は右記の勤務形態の区分の順にまとめて記載してください。 **勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務**
- 3 算出にあたっては、**小数点以下第2位を切り捨て**てください。
- 4 介護従業者の欄が足りないときは、欄を増やして(別の職種の余分な行を削除してその分の行を増やす、2ページにする等)記入してください。
- 5 介護従業者は下記例を参考に、**各事業所の日勤帯における勤務時間と夜勤帯における勤務時間とを区分して**記入してください。

例:日勤帯における勤務時間は8時間、夜勤者の勤務時間帯は17時～10時、利用者の生活時間を6時～21時とした場合

生活時間	夜間及び深夜の時間帯	生活時間
17～21時(4時間)	21～6時(休憩1H、実働8時間)	6～10時(4時間)

夜勤者の勤務時間帯→

介護従業者	A	昭島花子	日勤	8	8	8	4	4			8	8	8	4	4			8	8	8	4	4			128	32
	〃	〃	夜勤				3	5						3	5										—	—

- 6 宿直は「宿」と記入し、勤務時間の合計には含めないでください。
- 7 * 欄には、当該月の曜日を記入してください。

